

本提案における1人1台端末の活用（まとめ）

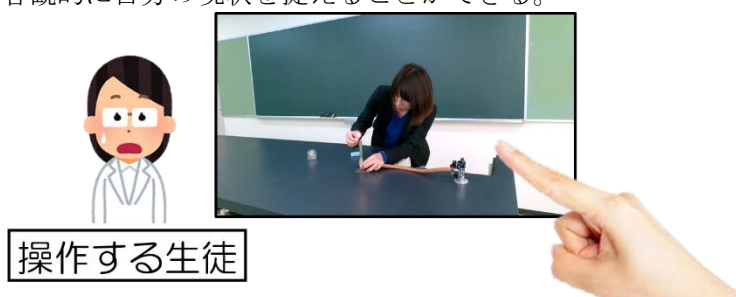
I. 学習形態 一斉学習 個別学習 協働学習

II. 利用するICT タブレットPC (Windows Chromebook iPad)
実物投影機 大型提示措置（大型モニター、プロジェクター）
その他（)

III. 利用するサービス ・Google ドライブ ・カメラ

IV. 場面によるメリット（1人1台端末活用のよさ）

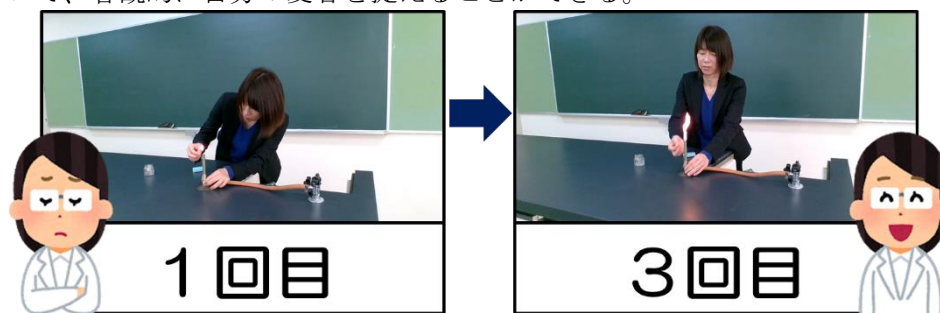
- (1) 【自分の現状の把握】カメラを用いて、ガスバーナーを操作する自分の様子を動画撮影し、視聴することで、客観的に自分の現状を捉えることができる。



- (2) 【対話的な学びの促進】撮影した動画を「操作する生徒」と「観察する生徒」が一緒に視聴することで、客観的事実を基に手順や動きを指摘できるため、対話的な学びを促進できる。



- (3) 【自分の変容の把握】練習前後の動画を比較することで、ガスバーナーの操作における技能の習得について、客観的に自分の変容を捉えることができる。



ガスバーナーの操作は、観察・実験の基本的な技能であり、3年間を通して繰り返し行うものである。本時以降の観察・実験において適宜撮影することにより、技能の習得状況を自分の端末に蓄積できる。これにより、生徒は、自分の学びを調整しながら技能の習得に取り組むことができる。